

第3次

名田島地区協働のまちづくり計画

(平成30年度～5年間)



平成30年4月

名田島自治会連合会
名田島地区社会福祉協議会

はじめに

伝えよう次世代へ、より良い名田島を^{ふるさと}

平素より協働・福祉のまちづくりにご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

平成29年度は、第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画が終了する年度に当たりますので、自治会連合会及び社会福祉協議会では、平成30年度から始まる第3次計画の策定に取り組むことになりました。

第3次計画の策定に当たりましては、平成29年夏に策定委員会と実働部隊である作業部会を立ち上げ、第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画の総括と評価を行いました。

また、第3次計画に引き継ぐべき課題の抽出及び広く地区民のニーズを把握するため、全地区民を対象にアンケート調査を実施しました。地区民のご理解とご協力のもとに実施したこのアンケートの集計結果から、改めて多くの課題が浮き彫りになってきました。

これらを総合的に勘案して、第3次計画へ盛り込むべき課題を整理しました。

第3次計画では、「第3次名田島地区協働のまちづくり計画」の名称の基に、基本理念として「伝えよう次世代へ、より良い名田島を^{ふるさと}」を掲げることにしました。内容としては、平成30年度からの5年間に実施する計画が盛り込まれています。

計画を具現化するためには、第2次計画と同様に、①行政と地区がこの計画に基づいて協働していくこと、②名田島地区社会福祉協議会と自治会連合会が協働していくこと、③地区内の関係団体の活動に当たっては、本計画の基本方針を踏まえて活動して頂くようお願いしていくことで、連携をとって進めて行きたいと考えます。この第3次計画を中心にすえて、これからの名田島地区の諸活動が進んでいくように、力を尽くしてまいります。

終わりにになりましたが、「第3次名田島地区協働のまちづくり計画」策定にあたり、多大なるご指導・ご支援を賜りました地区内各団体の関係者や、アンケートにご協力頂きました地区民の皆様に厚くお礼申し上げます。

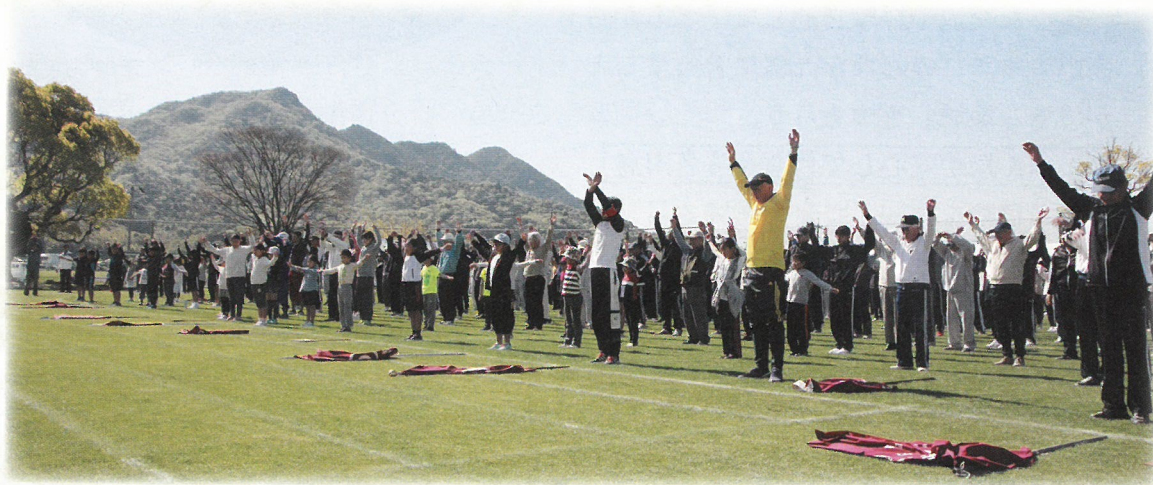
平成30年4月

第3次名田島地区協働のまちづくり計画策定委員会委員長
名田島自治会連合会会長 佐分利 隆

同副委員長
名田島地区社会福祉協議会会長 林 政 雄

目 次

1	基本理念	1
2	協働のまちづくり計画の推進体制	2
3	第3次名田島地区協働のまちづくり計画	3
4	資 料	
(1)	アンケート調査結果の概要	6
(2)	地域の概況	11
(3)	第3次名田島地区協働のまちづくり計画の策定経過	12
(4)	第3次小地域福祉活動計画の策定経過	12
(5)	第3次名田島地区協働のまちづくり計画策定委員会名簿	13
(6)	名田島地区社会福祉協議会推進委員会名簿	13
(7)	名田島自治会連合会加入団体一覧	14



1 基本理念 **伝えよう次世代へ、より良い名田島を**

名田島地区は他の市内農村部と同様に急激な少子高齢化と人口減少に直面しています。このまま手をこまねいていけば、名田島が早晚独立した一地区として立ち行かなくなる恐れがあります。現在名田島に住み、生活している若い世代や子ども達に、活力があり生活基盤が維持された名田島を伝えていくことを目指して、この「伝えよう次世代へ、より良い名田島を」という基本理念を掲げることにしました。

基本理念に掲げる「伝えよう次世代へ、より良い名田島を」を実現するために、幅広い分野に対応する活動目標を5つの柱に整理しました。名田島の持っている地域力を効果的に結集し、自治会連合会の部会を中心に各団体の協力を得ながら、20の活動目標に沿った諸活動を展開して行きます。

活動の柱

1 コミュニティー力を高める名田島

- ① 住民同士の和を重んじよう
- ② 名田島らしさとは何かを考えよう
- ③ 皆が集う“場”をつくろう
- ④ 名田島の情報を共有し良さをアピールしていこう
- ⑤ 「観光なたじま」をアピールしよう

地区民同士の顔が見え、いざというときの団結力が名田島の強みです。『地域づくりを進める原動力となるコミュニティー力』をより高めよう。

2 みんなが元気で活躍する名田島

- ① 子どもを守り育てよう
 - ② 高齢者が元気で活躍できる場をつくろう
 - ③ 三世代が互いを理解し高め合おう
 - ④ 元気な名田島人を増やそう
- 様々な交流や経験を通じて子どもから高齢者まで『みんなが元気に暮らすことができる地域』をつくろう。

3 みんなが安心して暮らせる名田島

- ① 危険を察知して自分を守る目を育てよう
 - ② 様々な危険から地域を守ろう
 - ③ 安心して暮らせる環境にしていこう
 - ④ 見守りの目を育てよう
- あらゆる危険から身を守り、『安心して暮らすことができる地域』をつくろう。



4 美しい景観を守る名田島

- ① 美しい環境をつくろう
- ② 住んでみたくなる環境をつくろう
- ③ 校庭の芝生を地域のシンボルにしよう

私たちが住んでいるふるさとに『誇りを持ち続けることのできる美しい景観』を守っていこう。



5 住んでみたくなる名田島

- ① 人口減少に歯止めをかけよう
- ② 地域の足(交通)をつないでいこう
- ③ 地域の伝統や文化を大切にし、後の世代に伝えていこう
- ④ 名田島にいる人々の輪を広げよう
魅力あふれる名田島ふるさとをつくっていく
ことで、『これからも住み続けたいと思えるふるさと』にしよう。



2 協働のまちづくり計画の推進体制

地域づくりに関する活動は多岐にわたるため、自治会連合会が全体のマネジメント機能を発揮しながら、自治会連合会に加入する団体等と相互に連携をとりながら本計画を基に各種の取り組みを進めていきます。

(1) 部会活動について

自治会連合会は5部会（総務、生涯学習、健康福祉、生活環境、防災）で構成されています。

毎年度の事業計画の作成にあたっては、本計画の活動内容について年度ごとの目標設定を行い、予算的措置を行いながら、課題解決に当たります。

(2) 自治会連合会の加入団体について

加入団体は、それぞれ活動分野や立場に応じた特性・個性があり、本計画に沿ってそれぞれの役割を果たしていくことが重要です。

そのため、加入団体と連携調整を行いながら効果的な活動が展開できるよう連携を強化していきます。

3 第3次名田島地区協働のまちづくり計画

活動の柱	活動目標	活動内容	担当	
			自治連	地区社協
1 コミュニティー力を高める名田島	1 住民同士の和を重んじよう	地域の連帯感を醸成しよう	○	
		あいさつがよく交わされる地域にしよう	○	○
	2 名田島らしさとは何かを考えよう	自治会活動を活発化しよう	○	
		自治会連合会のリーダーシップを発揮しよう	○	
	3 皆が集う“場”をつくろう	会館を活用しよう	○	○
		いきいきやかたを活用しよう		○
		山口南総合センターや地域交流センターを活用しよう	○	
	4 名田島の情報を共有し良さをアピールしていこう	名田島の魅力を地区内外に発信していこう	○	
	5 「観光なたじま」をアピールしよう	南蛮樋を中心とした回遊路のアイデアを考えよう	○	
		名田島の名所・名物を発信しよう	○	
2 みんなが元気で活躍する名田島	1 子どもを守り育てよう	子どもの笑顔を引きだそう	○	
		若者の集いの場を増やそう	○	
	2 高齢者が元気で活躍できる場をつくろう	高齢者が集い活躍できる場をつくろう	○	○
		ちょっとお手伝い活動をはじめよう	○	○
	3 三世代が互いを理解し高め合おう	高齢者の経験を子どもたちに伝えよう	○	○
	4 元気な名田島人を増やそう	自分の健康は自分で守ろう	○	○
		名田島の食に関する情報を豊かにしよう	○	
	3 みんなが安心して暮らせる名田島	1 危険を察知して自分を守る目を育てよう	地域防災計画を策定しよう	○
防災資器材の備蓄と定期点検を行おう			○	
定例の防災訓練を継続実施しよう			○	
災害時の安全確保に努めよう			○	○

活動の柱	活動目標		活動内容	担当	
				自治連	地区社協
3 みんなが安心して暮らせる名田島	2 様々な危険から地域を守ろう	「支えあいマップ」の内容を確認し、情報の共有と定期更新を進めよう	○	○	
		危険個所のパトロールと状況報告を継続しよう	○	○	
		危険個所の改善要望を継続しよう（対国・県・市等）	○		
		防犯情報を提供しよう	○	○	
		交通安全に努めよう	○	○	
	3 安心して暮らせる環境にしていこう	地域で設置可能な安全促進施設（防犯灯等）を整備しよう	○		
		安全な環境づくりに向けた要望・陳情活動を続けよう	○	○	
4 見守りの目を育てよう	見守り活動を充実しよう	○	○		
4 美しい景観を守る名田島	1 美しい環境をつくろう	美しい景観を守り育てていこう	○		
		ゴミに関するマナーを守ろう	○	○	
		ペットに関するマナーを守ろう	○	○	
		鳥獣被害のない環境にしよう	○		
	2 住んでみたくなる環境をつくろう	地域の生活環境を整備しよう	○		
		地域の清掃活動に参加しよう	○	○	
	3 校庭の芝生を地域のシンボルにしよう	芝生を楽しむ機会を増やそう	○		
5 住んでみたくなる名田島	1 人口減少に歯止めをかけよう	名田島に新しい魅力を創出し、地区内外に発信しよう	○		
		U・Iターン者を受け入れよう	○		
		空家・空地の保全・活用を進めよう	○		
		名田島版空家バンク制度を活用しよう	○		
	2 地域の足（交通）をつないでいこう	地域の交通対策を考えよう	○		
	3 地域の伝統や文化を大切にし、後の世代に伝えていこう	名田島に暮らす「幸せ感」を作り出そう	○		
		郷土資料の発掘と保全、伝承に努めよう	○		
	4 名田島にいる人々の輪を広げよう	「生涯進歩」の気持ちを持ち続けよう	○	○	
		ボランティア活動の輪を広げよう	○	○	

(2) 地域の概況

① 名田島地区の人口の推移

年次	世帯数	男性	女性	計
T 9年	387	879	961	1,840
T 14年	406	959	1,020	1,979
S 5年	429	1,101	1,116	2,217
S 10年	419	1,077	1,065	2,142
S 15年	408	1,065	1,068	2,133
S 20年	546	1,344	1,404	2,748
S 25年	533	1,393	1,416	2,809
S 30年	520	1,324	1,407	2,731
S 35年	492	1,185	1,300	2,485
S 40年	481	1,045	1,215	2,260
S 45年	484	967	1,147	2,114
S 50年	493	910	1,088	1,998
S 55年	485	900	1,045	1,945
S 60年	486	900	989	1,889
H 2年	489	832	951	1,783
H 7年	481	789	900	1,689
H 12年	496	767	884	1,651
H 17年	488	684	820	1,504
H 22年	498	645	765	1,410
H 27年	476	600	690	1,290

注：国勢調査より

② 名田島地区の高齢化の状況

単位：人、%

区分	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
高齢者(65歳以上)人口	373	448	489	489	502	559
高齢者割合	20.9	26.5	29.6	32.5	35.6	43.3

③ 幼稚園・小学校・中学校の子ども的人数

区分	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
名田島幼稚園園児数	33	23	20	14	11	10
名田島小学校児童数	120	107	77	64	50	46
潟上中学校生徒数	327	294	232	171	150	133

